

もっと笑顔で、暮らせる明日へ。

aito

1

Jan 2021
No.310





新春座談会

「食と地域農業の可能性」

J A庄内たがわ × ヤマガタデザイン(株)



J A庄内たがわ代表理事専務

菅原 勝



JA庄内たがわ代表理事組合長

太田 政士



ヤマガタデザイン株代表取締役

山中 大介

山中氏 里芋は高い取引単価で売られていますが、ロットが全く足りていらない状況であり、作つたら作つた分だけ売れると思込んでいます。ショウナイルーソンは、JAS有機認証を取得する（してい）るものもあれば、認証を取得していないものもあります。流通業者や消費者からショウナイルーの栽培基準そのものを認めて頂くことで、認証を取得してなくとも適正価格で購入いただける仕組みを実現できると考えております。農業者が慣行栽培から特別栽培や特に有機栽培にステップアップする場合、認証を得るためのハードルが高いく思います。消費者サイドに対し、JAS認

太田組合長（以下組合長）

山村氏 一マに対談して参ります。「ショウナイルーツ」「SEADS(シーズ)」においては同じ志で農業の素晴らしさを地域から発信しております。互いが知恵を出し合い、様々なアクションを起していく必要がある中、双方がこの地域で今後どのような役割を果たしていくべきか、お考えをお聞かせ下さい。ショウナイルーツは、鶴岡市やJAと一緒に一体となって育みたいと思っているブランドで、ブランド名にあるルーツは生産地を表す他、根っこという意味も込めています。この商品には、こだわった栽培基準を設けており、特栽や有機というマーケットに対し、地域の農家さんの農作物を有利販売していきたいと考えております。弊社の自社圃場で育てている野菜等の種類は限定的ですが、バイヤーや消費者に対し、直接的なコミュニケーションをとりながら、より高く買ってもらえる仕組みを作ることが地域農業者の健全な農業経営に繋がるという想いです。JA庄内たがわとは里芋を取引させて頂いておりますが、これがすごく売れていて、来年以降も更なる有利販売に繋げていけるよう努めております。

新年明けましておめでとうございます。組合員・地域の皆様におかれましては、ご家族お揃いで、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より、農協事業をご利用いただき、厚く御礼を申し上げます。さて、わが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、依然厳しい状況にあります。

一方、農政については、TPP11、日欧EPA、日米貿易交渉に加え、RCEP（東アジア地域包括的経済連携）と矢継ぎ早に貿易交渉が進められ、日本農業にとっては、海外からの多種多様な農畜産物の輸入が懸念されます。

また、今後の米の需給見通しについては、令和2年産米の作柄指数が全国で9であったことを踏まえ、令和3年産米の全国生産量は693万㌧となることが示されるなど、令和3年産は過去にない数量を主食米から非主食米に転換する必要があります。今後もコロナ禍の影響による需要減が続く中で、引き続き生産者が安心して米生産に取り組み、農業所得のさらなる向上が図られるようJAグループと連携しながら引き続き要請活動を行ってまいります。

地域農業においては、就農者の高齢化や担い手不足には歯止めが利かない状況にあります。現在、当JAでは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」へのさらなる実践と持続可能な経営基盤の確立・強化に向けて、令和3年度から令和5年度の3年間を対象とした「第9次中期経営計画」を検討しております。組合員アンケートの結果や対話をふまえ、組合員・利用者とJAが共に意識を共有しながら、役職員一丸となって取り組んでまいります。組合員・地域の皆様におかれましても、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年、令和3年、が、組合員並びに地域の皆様にとりまして、明るい展望が持てる年となりますよう、ご健勝とご繁荣をご祈念申し上げ、新春のご挨拶といたします。



新年のご挨拶

太田政士
代表理事組合長

2021

本年も宜しく
お願ひ申し上げます



山中 大介 氏
1985年、東京都生まれ。慶應義塾大学環境情報学部卒。三井不動産で大型商業施設の開発・運営業務に従事した後、「社会のために生きたい」という信念の下、山形県庄内地方へ家族で移住。2014年8月、街づくりを担うヤマガタデザイン株式会社を設立し代表取締役に就任。現在、山形県庄内地域で各種街づくり事業を推進中。地域経済から街づくりをデザインする全く新しい地方都市モデルにより、これからを生きる子どもたちが未来にワクワクするような社会の創出を目指す。



証が無くとも、生産のこだわりを示すことや適正価格での購入を啓蒙しているのがショウナイルーツであります。他にも、柿とネギとサツマイモは、特別栽培以上の水準で栽培し販売すれば、バイヤーに理解を促します。他にも、柿とネギとサツマイモは、特別栽培以上の水準で栽培して販売すれば、バイヤーに理解を促します。この商品の優位性についてどう捉えていますか。

菅原専務（以下 専務） 可能性のある品目としてニーズを注視していく必要があります。加工品である月山ワインについては、ワインナーを持ち、ワイン事業を直轄で行っています。しかし、原料からこだわる地産地消の地酒として、近年では各ワインコンクールで受賞するなど品質的にも安定しています。JAは全国的に非常に珍しく、

昨今の若年層のアルコール離れにより、販売戦略に工夫が求められています。改めてニーズの掘り起こしを行っており、この商品の優位性についてどう捉えていますか。

山中氏 私も甲州シユールリーが好きで、いつもおいしく頂いています。全国的にもナチュラルワインの人気がありますよね。そのカテゴリーで商品開発して、より付加価値を付け売ることができます。弊社がブランディングしながら、JAをはじめ、関わる皆様へ利益分配するというイメージで進めることもあります。

組合長 全国的な人手不足、担い手不足が懸念されていますが、管内においても同様であり、SEADSの取り組みには期待しております。

かし、研修生が卒業後、実際地域に入られると、理想と現実のギャップに悩むこともあると思います。彼らをどのようにJAは受け入れるべきか、要望等あれば伺いたいです。

山中氏 研修生らは2022年春に卒業となるわけですが、自立農へ意向が強い方もおり、具体的にどの場所で就農するかということで、人と情報のマッチングという課題が見ええております。未だ顕在化しない耕作放棄地になりえる場所や、後継者がいない箇所など、なかなか表には出てこない情報があり、弊社ではJAと連携し、人や情報を研修生とマッチングさせ、将来的にJAのメリットにも繋げていきたいです。独立就農も雇用就農できる人材を育てられるよう注力していくますが、どこに住んで、どこで農業を

かし、研修生が卒業後、実際地域に入られると、理想と現実のギャップに悩むこともあると思います。彼らをどのようにJAは受け入れるべきか、要望等あれば伺いたいです。

山中氏 研修生らは2022年春に卒業となるわけですが、自立農へ意向が強い方もおり、具体的にどの場所で就農するかということで、人と情報のマッチングという課題が見ええております。未だ顕在化しない耕作放棄地になりえる場所や、後継者がいない箇所など、なかなか表には出てこない情報があり、弊社ではJAと連携し、人や情報を研修生とマッチングさせ、将来的にJAのメリットにも繋げていきたいです。独立就農も雇用就農できる人材を育てられるよう注力していくますが、どこに住んで、どこで農業を

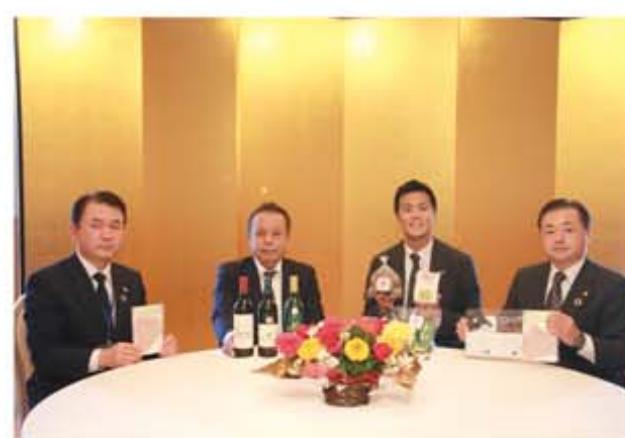
消費者が求める 安全安心な品質を提供し、 消費者の信頼性を高める。

組合長 人の小まめな情報伝達が必要ですね。住まいについては行政と相談しながら進めることもありますが、独立就農あると経営が軌道に乗るまでの生活もあります。農業法人への加入という形もできますよね。

山中氏 行政から独立支援型の補助金をもらいながら農業に従事していくことを想定していますが、選択肢としては独立就農もあれば、雇用就農という方法も十分あると思います。地域に入って更に情報収集をし、信頼関係を築きながら地域との関わりを持つことが理想です。将来的には、卒業生らが就農先で有機農業を実践し、ショウナイルーツとしての商品化へ結び付けてもらえたたらとも考えております。

課題は、 人と情報のマッチング。 JAからの情報発信が鍵。

J Aとの連携をより深化させていくことを考えております。JAは研修生の卒業後の進路が見え始めます。



うにできなかつたのですが、受け入れ先となる農家さんとの関係性の中で、懇親の場や地域活動にも顔を出していくことが理想的だと考えております。

辻村部長 販売戦略として、今後双方でどういった連携ができるでしょうか。

組合長 当JAで取り扱っている農作物は多品目であり、今後産地として生き残っていくためには、品目を絞つべきだとの意見です。

辻村部長 販売戦略として、今後双方でどういった連携ができるでしょうか。

先順位を上げながら、GAPの導入による品質重視の販売を目指しております。貴社の生産から販売に対する発想や感覚は大変参考になります。当JAにおける多品目な農作物を扱う園特部門の伸長に向け、産直やイシヨップ、ネットショップなどに対し、今後も意見交換できたらと思います。

山中氏 販売時に弊社を便利に使って頂きたいと思います。地域の農作物をいかに高く売れるかを基本に、シヨウナイルーツの栽培基盤を構築し、重点10品目を核とした省力化による規模拡大、新規作付け誘導などに努めています。販売戦略としては、消費者が求める安全・安心な農産物の提供により信頼性を高め、ブランド確立や取引先の優

の使い方等を具体的に提案したりして、有利販売ができるような体制を組んでいます。農業者が適正利益を得られる販売単価でなければいけませんし、都市部と地方のフェアトレードにしていかなければなりません。

弊社ではJAと連携し、人や情報を研修生とマッチングさせ、将来的にJAのメリットにも繋げていきたいです。独立就農も雇用就農できる人材を育てられるよう注力していくますが、どこに住んで、どこで農業を

かし、研修生が卒業後、実際地域に入られると、理想と現実のギャップに悩むこともあります。国内においてどれほどの需要がある潜的要素があり、そこを狙っていくことを考えています。オーガニック商品を最も購入しているのは20代男性、次に20代女性というデータがございます。普通に平場においても売れないので、彼らが買うような所に持っていく、つまり売れるマーケットに売れるモチベーションで持っていくことが重要で、これがまさにバイヤー教育だと思います。

辻村部長 来年の抱負をお聞かせ下さい。

夢のある農業の実現に向けて、組合員をはじめとする農業者への利益に繋げていく取り組みを実践していくことを考えております。第9次中期経営計画実施の初年度であり、踏み込んだ改革の実行が最大の課題であると捉えています。

山中氏 弊社の農業面で申しますと、JAとの連携をより深化させていくことを考えております。JAは研修生の卒業後の進路が見え始めます。

てくる時期であり、JAとの連携が重要な1年になると思っております。シヨウナイルーツの取り組みは、2020年に小ロットで始めましたが、大きな手応えを感じており、JAと一緒に、より本格化させていきたいと考えております。

山中氏 有機栽培のマーケットは国内で1兆円以上の売り上げがあります。国内においてどれほどの需要があると見てます。

辻村部長 農業者の所得増大や農業生産の拡大、地域活性化への更なる実践に注力して参ります。コロナ禍により皆様のライフスタイルは変わつていくでしょうし、JAや農家を取り巻く環境にも変化が生じることが想定されますので、どう対応し、いかに順応できるかをJAとして考えていくことを考えてます。

辻村部長 皆様から大変貴重な意見を出して頂き、ありがとうございます。

日本一おいしい米コンテストで管内から入賞

庄内町主催の「第14回あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト決勝大会」が11月28日、同町で開かれた。準決勝まで進んだ36点のうち18点が決勝大会へ進み、昨年の全国作付け割合上位20品種で競うメジャー部門で、藤島地域の菅原直己さんの「つや姫」が優秀金賞に輝いた。庄内米のルーツとなった「亀ノ尾」「森多早生」発祥の地である同町で開催されたこの大会は、メジャー部門、プレミアム部門、高校生部門の3部門へ全国から58品種、500点が出品。同町の阿部金彦副町長を審査委員長とした審査員15人が外観、香り、味、粘り、硬さを審査し、各最優秀賞、優秀賞、優良賞を選定した。



女性大学／あいとスクール閉校式

J A女性大学「あいとスクール」は11月26日、鶴岡市で閉校式を行い、受講生代表の濱谷輝美さんが学長の太田組合長から修了証書を受け取った。女性大学は5月に開校し、手芸とヨガのコース、家庭菜園コース、茶道とヨガのコースの3コースに分かれ各5回の講座を受講。陶芸体験やローラーワークスなどで手芸品の制作、家庭菜園や西洋野菜の栽培・収穫方法の学習、茶道の礼儀作法やホットヨガの体験など、目的別に分かれ、楽しくスキルアップを図ってきた。閉校式では最終カリキュラムとして交流会が行われ、家庭菜園コースで育ててきた西洋野菜を使った料理が受講生らに振る舞われた。



枝豆／高い発芽率を記録、来年に期待

枝豆部会が12月4日、三川町のJA育苗施設で2021年播種予定の枝豆種子の発芽試験を行い、晚生品種で平均80%以上と高い発芽率を記録した。この試験は種子の安定供給等を目的に毎年同時期に実施しており、部会の採取圃で採れた種子を使用し、同施設職員が管理する。今回は早生種から晩生種の7品種の種子を22枚のセルトレーに播き約10日間管理。同月14日に発芽率を確認したところ、早生は発芽に遅れが見受けられたが、主力品種の庄内3号、庄内5号は90%を超える結果になった。同職員は「カビや病害の発生も少なく、全体的に良好な結果。来年も高品質な枝豆が期待できる」と話した。



梨／減収の中で前年並みの販売高を確保

櫛引支所なし部会は12月7日、櫛引支所で出荷反省会と剪定講習会を開き、園芸特産指導員が作況や販売実績を報告した。2020年度の収穫量は天候不順により前年比25%減となったが、全国的な天候不順で市場は品薄傾向となったことにより平均単価は前年比20%増で推移し、前年並みの販売高を確保することができた。春先の低温多雨により受粉作業が若干滞ったが、栽培管理の励行で病害虫被害は少なく、各品種とも糖度12度以上を確保し高い市場評価を獲得した。講習会では、古い枝を剪定し新しい枝で生産力を高め、一定の側枝間隔にし日光量を確保するよう呼び掛けられた。



地域とJAを結ぶネットワーク 各地の話題を追って

JA NEWS

再載記事の詳細はホーム
ページに掲載しております



葉牡丹／正月飾りに人気!収穫がスタート

門松と一緒に飾るなど正月飾りとして人気の高い葉牡丹の収穫が庄内町で12月19日からスタートした。花き部会員を含む同町の生産者5人が約10㌃で栽培しており、JAでは例年並みの40ケース（1ケース30本）を関東の大田市場へ同月26日まで出荷する予定だ。同町で葉牡丹を栽培している大瀧嘉瑞さんは、葉の色づきなどを念に確認しながら「今年は草丈がきれいに真っ直ぐ伸びた他、11月下旬頃から低温が続いたことで葉の色づきも順調に進んでいる」と語り、品質に自信を見せていく。JAは新設した花き予冷庫を稼働し、前々日集荷と低温運搬による品質保持を徹底していく。



促成山菜／冬の収入源、収穫作業が本格化

山菜の促成栽培が盛んに行われている朝日地域では現在、青コゴミと行者ニンニクの収穫が本格化しており、同地域のJA農産加工所には日量1000パック以上が集荷されている。積雪量の多い同地域では、冬期間の貴重な収入源として山菜の促成栽培を振興しており、朝日支所山菜栽培研究会では会員19人が青コゴミと行者ニンニクの他、ウリイ、タラの芽を栽培している。2020年産は徹底した栽培管理で順調に生育しており、品質も良好。JAは集中発生を避けるための温度管理と株の乾燥を防ぐ灌水の徹底を呼び掛けており、4月上旬まで京浜や大阪市場へ向け、例年並みの約16万パックを出荷予定だ。



軟白ネギ／品質と安定出荷を重視

長ねぎ部会は12月8日、藤島地域と三川町で軟白ネギの目ぞろえ会を開いた。参加した部会員約40人が出荷規格や集荷体制などを確認し、市場への安定出荷と高品質生産への意識を高めた。園芸特産指導員が出荷調製や箱詰め作業を説明。選別時は曲がりを注視し、4㌢以下のものをA品として出荷すること、また、今後低温による凍害が懸念されるため、不織布や熱源の設置が望ましいと呼び掛けた。2020年産は大きな病害虫被害も見受けられず、品質は良好だという。JAは出荷量60㌧、販売高2,400万円を目標に、主要取引先である関東圏の市場へ3月末まで出荷していく予定だ。



柿えくぼ／甘くてしっとり、調製作業ピーク

管内では現在、渋抜き前の庄内柿を使用した干し柿「柿えくぼ」の乾燥や袋詰めなどの調製作業がピークを迎えている。皮を剥き食品用乾燥機に入れ、5日間ほど乾燥させると甘さが凝縮され柔らかくしっとりとした食感に仕上がる。主に羽黒・櫛引地域のJA組合員10人が各自宅で生産している。12月7日、作業に追われている羽黒地域の斎藤和彦さんは「手間はかかるが一つひとつ丁寧に作業し、消費者に高品質なものを届けたい」と話す。作業は1月末まで続く予定で、JAは販売高3,000万円を目標に通販サイト「JAタウン」で贈答向けとして販売、ふるさと納税の返礼品としても取り扱われる。



エンジョイライフ

温海支所管内 太田 喜美子さん(71)



好きな編み物に没頭したい

姉がセーターを編んでいる姿を見て「私も編んでみたい」と思い、約30年前から冬期間の趣味として編み物を始めました。当初は細かい作業に苦戦しましたが、テキストを熟読して技術を身に付けてきました。今まで仕上げてきた服や帽子などは、私自身が着用したり、家族にプレゼントしています。編み物をしている友人と作品を見せ合うことで新しいデザインの発想に繋げています。花のモチーフを100個以上つなぎ合わせたベストや7色の毛糸を使って棒針編みで仕上げたセーターなどがお気に入りの作品です。これからも一作品でも多く編んで、時間を忘れるほど没頭してみたいです。



お気に入りの
作品たちです。

これからも仲良く元気に育ってね！

新余目支所管内 斎藤 羽那ちゃん(4)
礼旺くん(2)

明るい性格の羽那ちゃんは、一家のムードメーカー。果物が好きで、中でもイチゴが大好物です。

かけっこが大好きな礼旺くんは、お姉ちゃんやお友達と一緒に元気いっぱい走り回っています。

走ったり踊ったり
体を動かすことが大好き！



ブロッコリーが
好物だよ！

いつも家族を
笑顔にさせているよ！



愛する牛を大切に育てています



櫛引支所管内 佐々木 政右卫門さん(75)

全農主催の肉牛枝肉共奨会で最高賞を受賞した経験を持つ佐々木さん。1980年に稻作と畜産を営む専業農家として就農し、その後間もなく畜舎を新設して牛の頭数を増やすなど経営規模を拡大した。現在は、1人で黒毛和牛50頭を飼育しており、繁殖・肥育を行なう一貫経営で年間平均15頭を出荷している。牛を病気から守り、どれだけ効率良く餌を食べさせるかを一番に考える佐々木さん。飼箱の減り具合を観察し、牛の様子が普段と違えばその都度体温を測るなど、牛の一挙一動に注視して育てており、肉質が良く体重・体高の大きい牛に育つかは手間をかけた時間に左右されるという。「年中、飼育管理を欠かせないことや牛の出産には真夜中でも立ち会うなど大変なことは多いが、生き物だからこそ様々な表情を見ることができて楽しい。これからも産まれてくる牛たちを大切に育てていきたい」と意気込みを語る。

Go To 2021「丑年」

丑は十二支の二番目で、子年に萌いた種が芽を出して成長する時期とされています。丑年には、先を急がず目前のことを着実に進めることが将来の成功に繋がっていくという云われがあります。

牛の歩みも
千里だね～

丑年は着実さが
大切なかな～



ファミリーファーム

FAMILY FARM

農業を次世代へ引き継いでいきたい

藤島支所管内
佐藤 護さん(67)・真人さん(39)
眞穂ちゃん(3)・怜真ちゃん(1)



(真人さん) 小学生の頃から家業の農業を手伝い、19歳で就農しました。父と地域の方々から水稻の栽培方法などを学び、現在は、父と協力して19歳を作付しています。自分で栽培計画を考え実行するのは楽しいですし、たくさん実った稲穂を収穫する時はやりがいを感じます。天候に作柄を左右されないよう土作りに力を入れ、毎日田んぼに出向き、生育変化への早期対応を心掛けています。

家族といふ時間をもっと増やしたいという思いから、家族と一緒に栽培できるオクラや赤カブなどの栽培も始めました。今後は、水稻の作付面積拡大を念頭に、次世代へ引き継いでいける農業を目指していきたいです。

人と自然、食べ物と生命、消費者と生産者。みんなで繋がっている。

年末年始の営業時間

※令和3年1月5日(火)からは、各業務ごと通常営業時間と致します。

	12月31日(木)	1月1日(金)	1月2日(土)	1月3日(日)	1月4日(月)
一般業務		休業			
交通事故受付	自動車の事故受付は、JA共済事故受付センターでお受けいたします。 0120-258-931				
信用窓口	休業		窓口営業		
配送センター	休業				
JAグリーンふじしま店	休業		通常営業		
資材各店舗	休業				
産直んめ農マルシェ	通常営業(歳末セール)	休業	通常営業(初売りセール)		
JA福祉介護支援センター	居宅介護支援事業 (ケアマネジャー) 訪問介護事業 (ホームヘルパー) 福祉用具貸与・販売事業 (福祉用具レンタル) 通所介護事業 (デイサービス えがおすあい)	休業	予約対応	休業	通常営業
ATM	本所・長沼(藤島) 立谷沢(立川)・南部(櫛引)	休業	9:00~19:00		
	温海支所・新余目支所 立川支所・藤島支所 羽黒支所・櫛引支所 朝日支所・東郷(三川) 泉(羽黒)・広瀬(羽黒)	9:00~17:00	9:00~17:00	9:00~21:00	
	三川支所	休業	9:00~17:00	9:00~19:00	
	念珠関(温海) 福栄(温海)・山戸(温海)	休業	9:00~19:00	9:00~21:00	
	藤島Aコープ	休業	9:00~19:00	9:00~21:00	
株 あ い と さ ー ビ ス	農機センター	休業			
各オートバル	※休業期間中の事故などの緊急対応については、最寄りの業務時間中のJA-SSIにご連絡いただくと、車両担当者におつなぎ致します。なお、1/1及び業務時間外はご加入の共済・保険会社等にご連絡いただきご対応願います。	休業			
プロパンセンター		休業			
コインランドリー	7:00~22:00	休業	7:00~22:00		
JASSS	福栄SS(温海) 温海SS 新余目SS・羽黒SS 櫛引SS・朝日SS 三川SS・藤島SS 立谷沢SS(立川)	7:00~17:00	休業	7:00~19:00 7:00~20:00	7:00~10:00

令和2年7月豪雨被害・山形大雨被害 生協共立社様より募金をご寄付頂きました

令和2年7月に県内を襲った記録的豪雨による管内の農地や当JA施設等への甚大な被害を考慮した生協共立社様が募金活動を実施され、この度、当JAへ支援募金として30万円のご寄附を頂きました。令和2年12月10日にJA本所を訪れた同組合の安達忠士理事長から太田組合長へ目録が手渡されました。太田組合長は「ご厚意に感謝し、組合員の為大切に使わせて頂く」感謝の意を述べました。



庄内米食べて新春
疫病避け阿部月山子
新年詠

優秀賞 (9月号に掲載)	優秀賞 (6月号に掲載)	最優秀賞 (7月号に掲載)
ゴロゴロと 石が流れる 出水川	茄子苗植う 三日分程 水を掛け	竹の子の 大地割り伸ぶ 底力
鶴岡市本郷 小野寺一郎	庄内町余目 早坂 宗笑	鶴岡市鶴出 渡部 嘉

俳句教室
2020年
年間賞発表

ご入賞おめでとうございます。入賞者には
表彰状と記念品を贈らせていただきます。

JA庄内たがわ 産直んめ農マルシェ 1月イベントのお知らせ

1/4(土)・5(日) ポイント5倍 初売りセール

両日20袋 限定!
雪若丸(玄米)
5kg袋 1,500円(税込)
はえぬき(玄米)
5kg袋 1,300円(税込)

期間先着100名様
お買い上げで
玉子プレゼント

期間先着100名様
どちもちプレゼント

1/16(土)・17(日) ポイント5倍 寒だら祭り

・寒だら汁の食材セット販売!
・ティクアウトのみ寒だら汁1杯500円

1/23(土)・24(日) ポイント5倍 鍋物野菜フェア

●JA庄内たがわ産「雪中軟白ねぎ」販売!
●白菜、豚肉、鶏肉などの鍋物商品を多数ご用意しております。

JAカードでお買い上げの方は 請求時に5%割引!

10月から2月までの営業時間:9:00~17:30 T 997-0824 鶴岡市日枝字小真木原88-1
TEL0235-25-6778 FAX0235-26-7880 E-mail sanchoku@ja-shonai.or.jp

農産物を出荷していただける産直協力会員を随時募集しています!

※写真・イラストはイメージです。イベント内容が
予告なく変更になる場合がございますので、
予めご了承下さい。

オンラインショップ

産直んめ農マルシェ

検索

SNSも
チェック
してね!



Twitter
@jashonai730



Instagram
ja_shonai.marche



LINE ID
@498zaito

JA共済ホームページで 「資料請求」&「掛金シミュレーション」

JA共済ホームページで生命共済や建物更生共済、自動車共済の資料請求と簡易掛金シミュレーションが出来ます。現在実施中の「こども共済」「特定重度疾病」「生活障害共済」資料請求や「自動車共済」お見積りキャンペーンに応募すると、豪華賞品が当たるチャンス!ぜひお試しください!様々なご用件・ご相談は、各支所共済課窓口まで。



JAのこども共済「学資応援隊」が
ママリ口コミ大賞 2020年秋
4期連続で大賞を受賞!!

(ママリ口コミ大賞とは)

ママ向けQ&Aアプリ「ママリ」がユーザーを対象に「本当に使ってよかった」と思う商品・サービスについて、アプリ内で口コミ募集を実施し、口コミ件数と満足度を基準に支持が多かった上位商品を紹介する取り組みです。

JAネットローン

(三菱UFJニコス保証型)

スマホからでも
パソコンからでも
仮申込OK!!



スマホからでも
パソコンからでも
仮申込OK!!



JAネットローン 検索

<https://ja-netloan.jp/>

JAネットローンは
365日24時間 受付中!

仮審査結果については、後日JAよりメール等で回答いたします。なお、応需の場合、三菱UFJニコス保証商品での正式申込および契約手続が必要となります。
ただし、JAにより取扱商品が異なる場合がございます。
※端末によっては、動作や表示が正しく行わない場合がございます。

総合取引ポイントの付与終了について

当JAの事業をご利用いただいた際に総合取引ポイントを付与していましたが、令和3年3月31日の取引をもってポイント付与を終了することとなりました。

付与ポイントは有効期限内に購買品引換券等に交換できますが、出来る限り早めの交換をお願い致します。

付与ポイントの有効期限は、当該ポイントの付与日から起算して3年経過後の3月末となります。



aito Jan 2021
No.310

発行／庄内たがわ農業協同組合 〒999-7611
山形県鶴岡市上藤島字備中下3-1 TEL.0235-64-3000
電子メール tagawa@ja-shonai.or.jp
印刷／庄内農村工業農業協同組合連合会



ホームページ

Twitter

Instagram

さきもと ゆうな
笹本 悠奈さん(20) 立川支所管内

私は現在、ホテル業について学ぶ専門学校に通っています。そして今春より、念願だった関東圏にあるリゾートホテルでの仕事がスタートします。1日でも早く業務を習得し、どんな仕事でもこなせる一流のホテルスタッフになりたいです。

撮影場所＝莊内神社 衣装協力＝前東京九栄

